いわき民報

平市田町四八　電三八一番
編集兼印刷人　千葉克己
發行人兼編集人
日刊　但月曜を除く
定價一部一円五十錢　一月廿九円
發行所　いわき民報社

水谷商相兩炭鑛を視察

各ヤマ勞組代表連とも懇談

水谷商工大臣は來る二十六日午後一時東京出發、翌二十七日午後一時來平、午前中常磐炭鑛、古河好間炭鑛の兩鑛を視察を行い、午後は平勞働會館に各炭鑛勞務者代表と懇談會を催し同日午後三時二十分歸京の豫定との入電が平石炭局にあったので關係方面ではこの機にヤマの懸案を一氣に解決しようと準備を急いでいる

市郡關係の起債決る

市の小學校舍建築費は承認

本年度起債は二十日決定されたが、市郡關係は左の通りで平市廳舍建築費、小名濱高校建築費、小名濱第二小學校增築費、小名濱役場廳舍建築費は承認されたが、平市戰災復興小學校舍建築費は遂に不承認となった（カッコ内は申請額、單位万円）

【承認】平市廳舍建築二七〇（三四五）小名濱高校建築一〇〇（三八七）小名濱第二小學校增築七〇（一四〇）小名濱町役場廳舍建築五〇（一三〇）

【不承認】平市戰災復興小學校舍建築（四三三）

石城教組の青年部大會

教組石城支部では二十三日午前十時から平第二小學校講堂に青年部大會を開催する

生活必需物資 初協力會

二十四日公會堂で

市では二十四日午後二時から公會堂日本間に生活必需物資協力會の今年度初會合を行う同協力會は各區毎に委員を置き從來木炭の配給に協力して來たものだが今度は特に野菜の入荷促進木炭の入荷對立を初め必需物資の公定價維持についてもヤミ物を買ない運動の氣運醸成などについて協力を要望することになっている

學校長會議

四市中小校學々長會議は眞夏の七月初旬平市で開くことになったがこれが開催の第一回打合會は二十一日午後市特別室で市内各校長が參集して開いた結果、石炭增産の強く叫ばれている折柄教育者も進んで炭鑛に就き審議した

十文字校長等適審決る

炭勞支部の闘争委員會

炭勞常磐支部闘争委員會は二十二日午前十時から市勞働會館に開き、紛争處理機關設置受諾、國管炭鑛指定、中央炭勞組織強化、縣勞働委員選出

新人卓球

あす平第三校で

磐城スポーツ連盟卓球部主催の第二回新人卓球大會は二十三日午前九時から市第三小學校講堂に開かれるが、現在の應募者は男子百八名、女子二十七名で當日は個人優勝を競って白熱戰が展開される

野菜氾濫公價下廻る

◇正に出廻最盛期に入る◇

青物の出廻最盛期に入った平市では農村からの賣込みや各入荷組合の入荷によって一日約二千貫平均の野菜が出廻り特にキャベツは貫當四十円（公定四十円五十錢）以下をとなえカブも十二、三円（公定十七円五十錢）を示して何れも公定價格より下廻っておりこゝ當分市内はお野菜の氾濫が續く見込みであるなお出荷先は草野、飯野、神谷、市内平窪である

市の野菜對策

リンク制に タバコも

硫安リンク率改訂

市では蔬菜出廻促進に對しリンク制タバコを特配することになりルートを通して出荷したものへ贈る、また硫安一貫匁に對するリンク率も次の如く訂正する旨縣から通知が入った

【三十貫】人參、牛ぼう、里芋、白菜、胡瓜、南瓜、菜豆、豌豆、れん根【五十貫】ネギ、蠶豆、ホーレン草、【八十貫】大根、菜類【一百貫】フキ、葉玉ねぎ

組合長會議

二十七日本社で

市郡下農協組々合長會議は二十七日午前十時から本社ホールに開らき、農協組組合長理事、發起人代表、農藥會總務主事等參集、農協組地方設立狀勢、當地方連合會の構想その他規約、出資金等に就き協議する

健保々險料金を改訂

五等級を三十等級に分けて

平市國民健康保險組合では從來最低二円三十錢から最高百五十二円まで保險料を五等分に分類して徴收していたが今度最低五円から最高二百円まで三十等分に値上整理することに決り四月分に遡って新保險料により徴收することに決定した

從來の保險料によれば月額二円三十錢と二円八十錢の組合員が多く占めていたが今度は十円乃至十二円の負擔組合員が多い

小名濱町の總務委員會

小名濱町總務委員會は二十四日午前九時から開いて郵便局改築敷地問題等について協議する

福利協會對策等に就き審議した

農業會財産處理委員會

小名濱町農業會財産處理委員會は二十四日午後一時から役場に開き委員長並に精算委員の選任を行う

工員窃盗團捕わる

十八才の採炭夫二人を首領として

市内彌宜町富士興業工員尾藤々一（二二）ほか五名は好間村古河炭鑛採炭夫（一八）を首領として勤め先の城山富士興業磐城工場から機械工具類百五十二點三万円相當を盜み出していたこと發見、平市署新妻刑事等に二十一日捕われた

ヤマ使用の火藥講習

東部炭鑛技術會で

炭鑛技術能力の向上、研究を目指して新發足した東部石炭協會の後援で二十一日午前九時から常磐炭鑛淺野記念館に火藥講習會を開催東北大教授工博山本祐德氏、元東大教授山家信次氏、理學士野原尊夫氏から爆破、爆藥の爆破力、炭鑛爆破等につき講演あり終ってドウトリッシュ爆薬試驗、ガスト猛度試驗殉爆試驗、その他に就き實驗も行はれ會員並に一般人の研究心をそゝった

教育課長宅 一度の御難

市内長橋町市教育課長谷川政氏（五六）方では二十一日午後二時半ころ不在中男物紬仙單衣など三點、二千九百円相當を盜まれた、全課長宅では三月下旬にも衣類九點を失敬されたばかりで二度目の御難である

永井中と錦小校長決る

郡下永井中學校長は永井小學校長小野若松氏と決定又錦町小學校長には南會津地方事務所の竹岡傳氏が任命された

いわき寸言

◎野菜公定を下廻る、これには文句あるまい

◎引揚者への配給の千余円の毛布ヤミで八百円とはネ

◎配給必ずしも安からず、ヤミ必ずしも高からず、ベテナ

産婦人科
外科
泌尿器科
實川醫院
院長　實川彌太郎
實川泉二
平驛前電二七〇

オモチャの仕入は
上原玩具店
平驛除左五軒目電二三

肖像畫の御注文は作家直接に限る何故か？
外交員からの御注文は作家に責任がなく、それ故に良心的な作品が出來ない　我等作家は進んだ揮毫方で金に慾なく製作慾に接している事を御理解下さい
菊水肖像畫院
平市五丁目電九八九

郷土研究に就いて

史談會員　高木誠一

郷土研究は。歴史即ち古い事を地方〳〵で研究して見ようとする運動で。それぞれの地方の風俗習慣信仰生活様式等を研究することで。以前はぼく然と歴史地理の中に入れられて居た考古學人類學が一分科として、獨立した如く、或はこれ等以上に人類と密接な關係を存するこの風俗習慣等を研究することが一つの學問として卽ち民俗學として當然獨立させられねばならないと柳田國男先生は云つている。考えて見まするのに私達かゝ學校で敎はり、中學校で敎はり、くりかえして敎はつた日本歴史と云うものは、中央を中心とした歴史であり英雄中心の歴史であつた殆んど政治と戦爭との歴史であり登場人物は貴族とか武家とかいう國民のごく少數者で彼等のへて來た道しか明かにしてくれなかつた、はなやかな脚光をあびた彼等の下積みとなつて、もく〳〵として生活して來た無數の民衆は一体どんな生活をして來たかこの點を從來の歴史は一寸も說明してくれなかつた。從つて我々の生活と直接には何の關係もなかつたために郷土の狀体を知る資料とはあまりならない、何よりも先づ直接關係のある事、父や祖父はどうであつた祖先はどうであつた、村の生活はどうであつたというような大衆風俗の生活の歴史を知ろうとするこの研究にとつて從來の歴史研究法のみでは役立たなくなつて來たのである、文獻とか石器土器とかの目に見ることの出來るもののみを僅かな前代の遺物と考えて他の大事な方面をなおざりにして居たことであつた考えて見れば現在使用している言語も過去の遺物である、常に住んでいる住居も朝夕の食事も同じく前代の遺物であり、郷土研究の目標でなければならない、この言語方面の遺物卽ち日用語を始め童謡俚謡から昔話、傳說など、語りものの類に至るまで或は祭禮の行事、舞踊その他に見る風俗行事等の行爲此等の資料をそれ〴〵研究して祖先の心を考へ我々は何故、この東北に住みかゝる生活をなさねばならないかを思い我々に結ばれて居る糸を辿くたどつて見ねばならない、先の言語、風俗、信仰、藝術——社會組織の根抵をなすところのこれらすべてについて人々は今日どれだけの知識と理解とを持つて居るでせうか現在我々が事もなく、くりかえしつゝある言語にせよ種々の行事にせよ、皮想な淺薄な第二義的な解釋はあつても發生の根本にさかのぼつた語源なり、起原なりに至つては我々の知らんと欲する、殆ど悉くが何等せん明されて居ない有樣でありますのみならず折角幾千年の昔から現在に僅かに傳えられた其等の事物に對しそれが果して何事を意味し、何物を具象したものであるかという徹底した、せんさくや研究が加えられず、先づたわいもないものとして齒牙にだにかけられず學界にと劣つた取扱の下る置かれるのが世の常であります、思えば何氣なさ一介のしやく子、土くれるも等しと見うるゝ一塊の土碎さては憫笑にだにあたいしないとさるゝ、はかなきおましないそうした眼の前の一見なんでもない樣な事物の中にも士と人と家とにからまる我等の遠い祖先の生活のかげは宿つて居るそれは我々にとつて地の下の暗さが中に埋もるゝ寶よりも尊い我々はそばの見る眼に滑稽とさえ思はるゝまでのまじめなぎねんと不審とを抱きつゝあたかも砂金を淘ぐ人と同じ忍耐を以て埋れ朽ちんとするその寶をほり出し其處に千古をつらぬく人間生活本然の意義を見出す敏風をはぐゝんで行かねばならない。それには我々に最も近い郷土の生活を考え他地方比較研究によつて眼をやしなひ再びふり返つて我が郷土を見直すところの終昔の郷土研究の目標があるこゝに注意を向けることが郷土を愛する人々の義務であると思う

平戸籍會改組民主化

二十六日に結成式擧行に決る

平戸籍會では今度平戸籍事務協議會司法事務局平出張所として新設足することになり二十六日午後一時より平市公會堂日本間に結成式をあげ、規約決定、役員選擧等を行う、從來は平簡易裁判所の監督下に平市長を會長に運營して來たが今度からは會長も會員中から選任することになつてる

木材生産者登錄制指導

白城地方事務所では二十六日午前十時から木材林産組合事務所に木材生産業者登錄制指導會を開き前年度の木材生産内容その他に關する登錄を五日來日までに豚に提出せねばならないので業者に對する指導を行う

村井課長の遊興額

【既報】物價統制令違反で未決收容中の元農業會白城支部生産課長村井忠氏（三八）が昨年十二月中旬から本年四月まで遊興費にバラ撒いた金額を調査中だつたが右によると中内八料理店で使つただけでも十万八千七百円の大きな額に達しており係官もあきれている

食鹽貯藏庫

今日起工式

【既報】小名濱港岸壁西北に建設に決つた建坪百坪の食鹽貯藏倉庫は東京大明建築の請負により、二十二日午前十時から起工式を擧げいよ〳〵着工した

官内府から下賜金到着

去る二十九日の天長節に際し官内府から下賜になつた金一封が二十二日市社會事業助成會へ到着した

平驛連合區分會の大會

國鐵勞組平驛連合區分會大會は二十二日午前十時から市勞働會館大會議室で開催

町村長の常會

郡町村長常會は二十五日午前十時から市内常陽銀行に

坑夫慘死

赤井村日曹福島炭鑛相川鑛後山坑夫平澤末吉（三一）さんは二十一日午前十時二十分頃昭和十九坑右坑本線三目拔きでそり引作業中落磐で重傷直に平市醫療團平病院で手當を加へたが遂に夕刻死亡した

常磐線列車から突落す

恐しい營業課長殿

仙台市南小泉八小路森林畜産株式會社營業課長吉田銀七郎（三七）は生豚を賣るからと福岡縣磐田郡今井木延久家畜商高橋勘を誘い出し二十一日午前五時ころ常磐線上り列車で瀧田驛、富岡間のトンネルに差かゝつた時矢庭に乘降口から高橋を突き落して重傷させ逃走したが原因は仝人所持の二拾万円の小切手を詐取しようとしたもの

法廷だより

◆小名濱町運轉手椎名正藤（二一）は無免許運轉で二十一日午簡裁で罰金二百円に

◆其輪村大字高野字道傳農高萩篤三（五〇）は二月末木炭十俵を内郷町綴昭和よう業へヤミ流しで同じく罰金千円に

◆植田町小濱字台農鈴木宰（四四）は甘藷のヤミ販賣で同じく罰金五千円に

精神科　電15
内科
平市塩畑小路　アラタメ　新田目醫院

白米を盜まる
市内高月官吏岩崎正さん（三〇）方では二十一日午前十一時ころ留守中に白米五升ほか四點、計千八百円を盜まれた

とんだ惡戯者
二十二日午前零時頃市内南町染物業鈴木信衛さん（四〇）方で義妹のシズエさん（三八）が一人留守居中屋根上に二、三名の足音がするのでつきり强盜と早合點、洗面器をたゝき泥棒〳〵と怒鳴つたので附近のものも驚ぎ出し平署でも調べた結果附近は特殊料理店街なのでいたづら者の夜這と判つた

パーマネント
バーも出來ました
休日ともパーマネントは
電緊急募集
美容師見習　二名
技術者　一名
但し見習生は中學初等卒業生程度
平市田町六八
永山ツル子
メイ牛山門下
美容師メイ

五月人形
陳列即賣會
お馴染の東京一流の人形師王扇が出張即賣致します
期日　五月二十四日から六月十二日迄
場所　平驛前中央通り世界館側
大和屋酒店内
東京人形問屋　王扇

内科　小児科　外科
若松醫院
若松信吾
小野彌久
（入院室完備）平市大町二三　電五〇五番

各種ミシンの販賣と修理
平和通り
三浦商會ミシン部
電八六四番